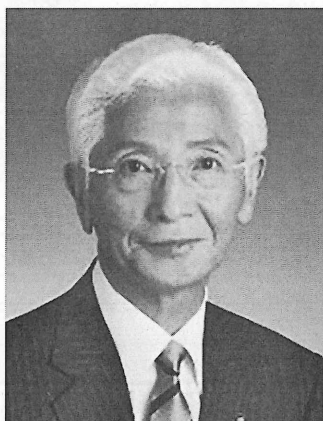
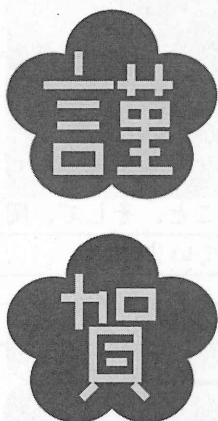


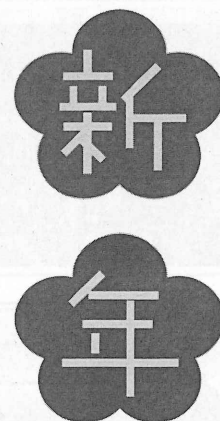
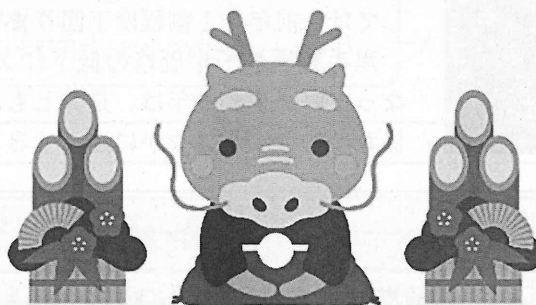
URL <https://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.47

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

新年のご挨拶



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和6年の年頭に当たり、会員及び関係者の皆様から昨年賜りました協会業務の円滑な推進に対する御支援と御協力に対し、心から感謝申し上げます。

さて、去年は、新型コロナの影響も収まり、生活に以前の活気が戻りましたが、国際情勢や為替相場などを背景として、生産資材、特に、配合飼料価格がかつてない水準で高止まりするなど、畜産経営に大きな影響を与えています。

さらに、黒毛和種については、新型コロナの拡大や、物価の上昇による小売り向けの引き合いの弱まりなどの影響から、ここ数年、枝肉価格が前年を下回って推移し、これに連動する形で子牛価格が低下しており、令和5年7～9月期には、21年ぶりに子牛生産者補給金が交付されました。

また、家畜衛生関連では、国内で今シーズンも高病原性鳥インフルエンザの発生が見られており、生産者をはじめ関係者にとっては、気の抜けない状況が続いています。豚熱についても昨年、九州では初めてとなる発生が見られたほか、海外からの伝染病の侵入は、引き続き、大きな懸念材料となっています。

こうした状況の中、当協会としては、会員の皆様と一丸となり、肉用子牛や肥育牛のセーフティネットの制度や、収益力を強化するための機械等を整備する畜産クラスター事業、肉用子牛生産者の生産意欲を維持するための緊急的な事業など、今必要とされる国や県の取組について、適時適切に実施できるよう臨んでいきたいと考えています。

また、家畜衛生については、高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの発生防止に向けた、飼養衛生管理基準に沿った対応の徹底のほか、牛伝染性リンパ腫や牛ウイルス性下痢、ヨーネ病の感染防止対策の実施、口蹄疫や豚熱などの万が一の発生による畜産経営への影響を緩和するための家畜防疫互助基金の加入促進にも着実に取り組んでいきます。

今年は、「甲辰（きのえたつ）」の年となります。これまで準備してきたことが形になる縁起のよい年とも言われています。皆様の日頃のご努力が実を結ぶ素晴らしい1年になることを期待しています。

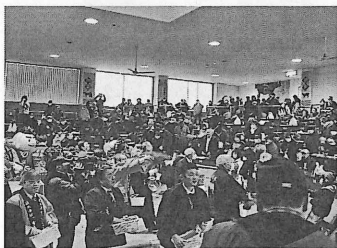
結びに、会員と関係者の皆様のますますの御健勝と御活躍をお祈りし、新年の御挨拶といたします。

2024年初セリ



令和6年1月12日(金)、七戸町にある青森県家畜市場において、肉用子牛の初セリが行われました。当日は、この時期には珍しい雨が降る中、県内各地から生産者の皆さんが手塩にかけた黒毛和種の子牛たちが集まりました。

初セリの式典は、主催者挨拶と来賓祝辞の順で進み、当畜産協会の小山田会長の発声により、りんごジュースで乾杯が行われました。これに続き、恒例の「餅まき」が、購買者や生産者の皆さんのたくさんの笑顔の中で行われ、初セリが大いに盛り上がりしました。

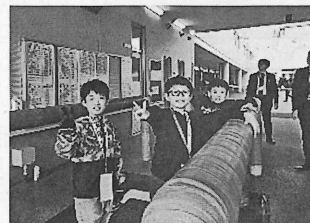


式典が終わったあと、集まった子牛540頭余りがセリにかけられ、1頭あたりの平均価格は約55万円、新年最初の最高値は、99万円を獲得した雌牛でした。全体としては、前年を1割程度下回りましたが、先月よりは若干の上昇が見られました。

黒毛和種の子牛価格の低下により、子牛補給金が21年ぶりに交付される状況となっています。今年は、是非とも、価格が上向きに転じてくれること、そして、関係者の皆さんが健やかに過ごせる1年になってくれることを願っています。

競馬ツアー2023 IN 盛岡競馬場

令和5年10月22日(日)、盛岡競馬場への毎年恒例の競馬ツアーが行われました。今年初めて参加した親子連れやご家族も多く、子供たちは普段見られない「実況室」や「装鞍所(馬の健康観察や体重測定をする所)」などの裏方見学に大喜びの様子でした。また、県産畜産物と当協会のPRのため「青森県畜産協会50周年記念賞」と題した冠レースに協賛し、参加者の皆様にレースを大いに盛り上げていただきました。来年も競馬ファンの皆様とお会いできるのを楽しみにしております。



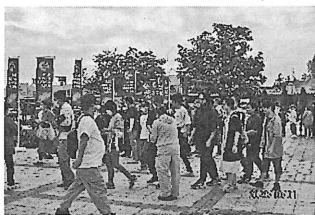
第14回大農林水産祭

令和5年11月11(土)・12日(日)の2日間、青森市の「産業会館」で、第14回大農林水産祭が開催されました。青森県や南北海道などが広域連携をしながら、地域の加工品や観光をPRするとともに、本県の豊かな農林水産物や食の魅力をアピールすることができるイベントで、昨年を上回る来場者があり、この中で畜産協会は、養蜂協会の事務局として蜂蜜の販売などのお手伝いをしました。

今後も、青森県の農林水産業の振興や地産地消を推進するイベントには積極的に参加し、養蜂業の振興・発展に向けた活動をしていきたいと思っております。



畜産フェア



令和5年10月1日(日)、盛岡競馬場において、地方競馬の振興と県産畜産物の消費拡大を目的として、東北6県合同の畜産フェアが開催されました。当日は、ダービーグランプリの開催日ということもあり、多くの競馬ファンが、今か今かと開門を待ち望んでいる様子が見られました。

競馬ファンに配布する各県自慢の畜産物は、合わせて1,110セット用意されましたが、開門すると、その引換券はあっという間になくなり、こうしたイベントの人気の高さが窺えました。

青森県畜産協会からの配布は、
十和田市「みのる養豚」十和田ガーリックポークソーセージ

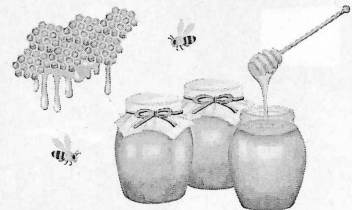
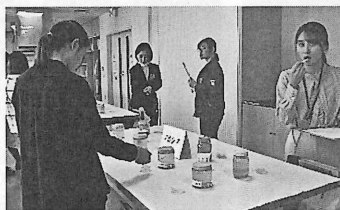
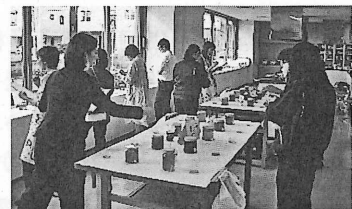


ハチみつ品評会

令和5年10月23日(月)に青森市「アピオあおもり」で青森県養蜂協会主催の第11回はちみつ品評会の審査会が開催されました。はちみつ品評会は、養蜂家の採蜜技術の向上とはちみつの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的で毎年開催されています。本年度は21会員から60本のはちみつが出品されました。

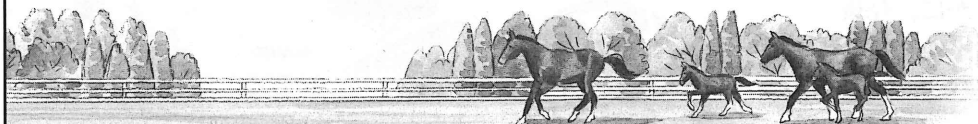
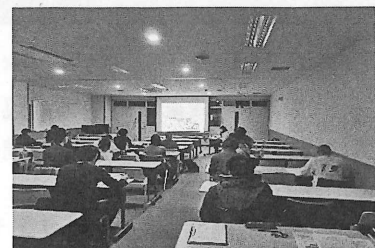
出品された蜜は事前に糖度を測定し、審査員がアカシア、トチ、リンゴ、その他の部門ごとに風味と色沢を厳正に審査を行いました。

審査の結果、アカシアの部の鳥谷部良作(五戸)さんが県知事賞に輝きました。



馬技術指導研修会・病院セミナー

令和5年11月11日(土)、県内の馬獣医療関係者の基礎臨床診断技術のレベルアップを目的に、馬技術指導研修会を開催しました。今年度も北里大学の「病院セミナー」とコラボしての研修会となりました。第1部は「鹿児島大学馬臨床実習」について、十和田家畜保健衛生所の小田桐千鶴恵先生の伝達講習、第2部は「蹄葉炎治療における最新アップデートWet Lab」について、イチヤマホースクリニックの一山雄二郎先生の臨床実習が行われました。参加者は、指定獣医師、家畜保健衛生所の職員、大学の学生24名でした。臨床実習は、本物の馬の脚を使用するの深屈腱切断手術でしたが、参加者からは、「聞くのと実際に行うのでは全く違い、知識的にも技術的にも向上することができました。貴重な体験をさせていただきました。次回も積極的に参加したい。」等の声が上がっていました。



若手女性研修会

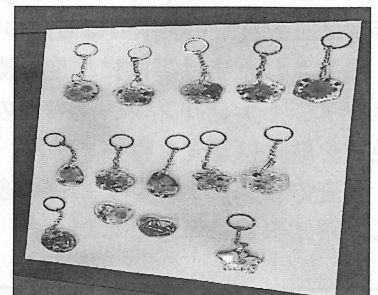
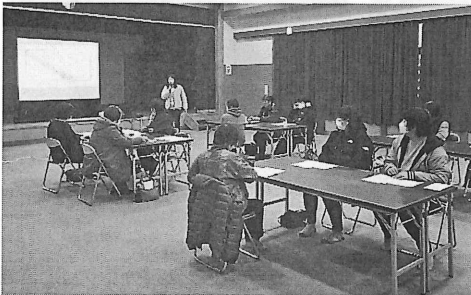
令和5年12月6日(水)青森市のゆ～さ浅虫で、令和4年度に結成された若手経営者の会の構成員13名のうち、9名が参加しました。当協会の総括畜産コンサルタント阿保洋一氏の「和牛経営者の状況と今後の展望」の講演後に、全員で「エコクラフトで北欧風小物入れ作り」を行いました。経営の勉強だけでなく、お楽しみの時間もあり、参加者から2回目の開催を希望する声が多数ありました。



東通村女性交流会

令和5年11月29日(水)東通村肉用牛女性部交流会を開催しました。

交流会では東通村市場情報や「第11回全国モーモーマーちゃんINしまね」についての情報提供がありました。また、参加者が一番楽しみにしていたレジンを使用したキーホルダーを作成しました。参加者からは「こんなに簡単に作れた!」、「ずっと、作りたかった」と感想があり、次回も参加したいとの声をたくさんいただきました。

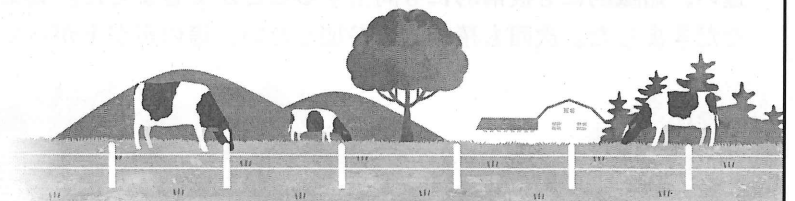
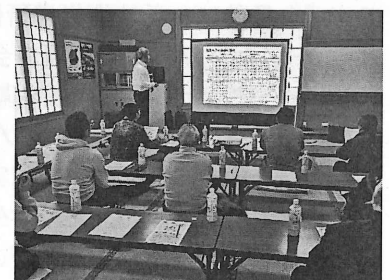
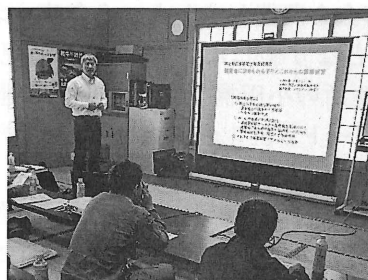


畜産技術研修会

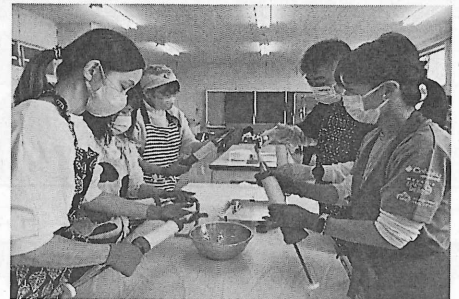
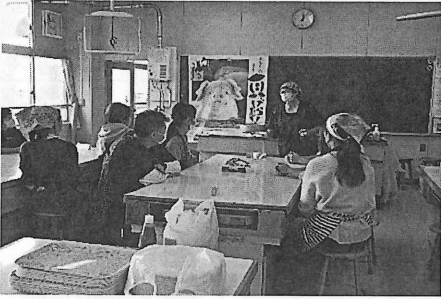
令和5年12月15日(金)、つがる市屏風山畜産組合で津軽地域家畜衛生推進協議会主催による技術研修会が行われ、和牛繁殖経営者を中心とした17名が参加しました。

当協会の阿保総括畜産コンサルタントから「購買者に求められる子牛とこれからの繁殖経営」について講義があり、繁殖牛の栄養管理や子牛のワクチネーションについての提案がありました。

質疑応答の際には、講演内容のほかに、今後の子牛市場や穀物の相場、最新の種雄牛情報など様々な質問があり、大いに盛り上がりました。



食育研修会



令和5年10月18日(水)畜産農家さんと「食の大切さ」「命の尊さ」そして「感謝する心」について楽しく学び、子供との語り合うきっかけにするため、青森市立千刈小学校の調理室で、PTAの皆さん19名を対象に県産豚ひき肉を使ったソーセージ教室を開催しました。講師は、「長谷川自然牧場」の長谷川 洋子さん。羊の腸にスパイス等を混ぜた豚ひき肉をソーセージキットに詰め、ポイルしている間、「命をいただくという事」や「最近では家族と一緒に食事をするのが1年のうちに100回もない時代になっている。なるべく一緒に食べながら、会話ししょう」等の講話があり参加者は真剣に聞いていました。

お知らせ〈家畜防疫互助基金〉

家畜防疫互助事業は、豚熱、口蹄疫などといった伝播力が極めて強く、我が国の畜産経営に極めて重大な影響を及ぼす疾病が万が一発生した場合に、発生農場が経営再開までに必要な経費等を相互に支援する制度です。

この事業は、3年が1業務対象年間となり、生産者自らの積立金(初年度に積立)によって3年間を賄う仕組みになっています。

令和6年2月1日からは、新たに、令和6年度から8年度までの3年間を対象とした申込みが始まります。

お申込み期限は令和6年3月31日までとなっており、原則途中加入は認められておりませんので、ご加入を検討されている生産者の方は、お早めに所属農協または、青森県畜産協会の家畜衛生課へご相談・お申込みくださるようお願いいたします。



地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい」という方は、地方競馬全国協会までご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧になれます。

<https://www.keiba.go.jp/>



各種制度交付金単価

1. 肉用子牛生産者補給金制度

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
令和5年度保証基準価格		556,000円	507,000円	325,000円	164,000円	274,000円
// 合理化目標価格		439,000円	400,000円	256,000円	110,000円	216,000円
令和5年度 第2四半期 (7月~9月)	平均売買価格	521,600円	553,000円	-	196,900円	299,600円
	交付単価	34,400円	-	-	-	-
	交付額	65,532,000円	-	-	-	-

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン)

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
令和5年 4月期 (6月交付)	11,064.6円	-	45,047.7円	
令和5年 5月期 (7月交付)	73,794.6円	13,933.8円	45,099.0円	
令和5年 6月期 (8月交付)	80,827.2円	45,225.0円	32,263.2円	
令和5年 7月期 (9月交付)	93,460.5円	45,701.1円	37,302.3円	
令和5年 8月期 (10月交付)	167,718.6円	56,643.3円	32,547.6円	
令和5年 9月期 (11月交付)	158,334.3円	53,065.8円	-	
令和5年10月期 (12月交付)	123,617.0円	44,598.8円	-	(概算払)

3. 肉豚経営安定交付金制度 (豚マルキン)

	平均粗収益	平均生産コスト	交付金単価
令和5年度 第1~3四半期(令和5年4月~12月)	43,724円/頭	42,245円/頭	0円/頭

青森県家畜市場成績 (七戸)

子牛 市場成績表

【開催日 6年1月12日】

1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種 【小計】	雄											
	去	289	982,300	69,300	618,607	304	325	1,904	337	588,392	1,843	61
	雌	215	995,500	126,500	457,436	308	293	1,563	233	427,952	1,497	66
		504	995,500	69,300	549,854	305	311	1,767	570	522,809	1,711	56
	主	7	518,100	369,600	438,271	311	300	1,459	14	401,264	1,409	50

・黒毛和種の取引頭数は504頭で、前回より去勢48頭減、雌18頭減、全体で66頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は549千円で、前回より去勢30千円高、雌29千円高、全体で27千円高となった。

2. 主な種雄牛別の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
福 之 姫	40	791,340	344	2,299	303	30	535,187	307	1,744	309	70	681,560	2,077	305	13.9
茂 晴 花	25	557,964	310	1,798	307	20	400,015	274	1,462	308	45	487,764	1,659	308	8.9
若 百 合	23	616,287	327	1,885	303	14	449,507	307	1,465	310	37	553,181	1,732	306	7.3
寿 優 福	19	583,753	320	1,823	303	14	438,979	288	1,525	310	33	522,333	1,705	306	6.6
貴 隼 桜	13	672,438	346	1,945	307	12	482,808	312	1,545	305	25	581,416	1,763	306	5.0
総合計	289	618,607	325	1,904	304	215	457,436	293	1,563	308	504	549,854	1,767	305	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は、「福之姫」で13.9%、次いで「茂晴花」8.9%となった。
 ・福之姫の平均価格は681千円で、前回に比べ16千円高となった。単価は2千円で前回より34円高となった。

一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
 家畜衛生課 Tel(017)722-4331

経営支援課 Tel(017)723-2775
 Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196
 URL <https://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp